



関中央ロータリークラブ

2019-2020 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 吉田和也 副会長 高井良祐 幹事 土屋敏幸 クラブ会報委員長 長谷川修

2019~2020 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「One for all, All for one.

協力しあい成長するロータリー！」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

新型コロナウイルス感染症対応原稿例会 第 2007 回例会 2020 年 5 月 21 日 (木)
本日のプログラム 「会長エレクト研修セミナー報告」

*会長あいさつ 吉田和也会長

最近、地震も頻繁に起きそちらの災害の発生も心配ですし、又気温も上がってきてマスクをしながらの現場での作業はとても暑苦しく、熱中症への警戒も必要となってきたように感じる今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

本日の卓話原稿は、新型コロナウイルス感染症の影響により YouTube での開催となった会長エレクト研修セミナーの報告を川村会長エレクトにお願い致しました。川村会長エレクトにおかれましては、研修セミナーもイレギュラー的な開催となり、次年度の行事の開催も今後の状況の変化に対応しながらという大変難しい状況で多大なご苦勞、ご心配もおありかと思いますが、どうかセミナーの報告よろしくお願い致します。

さて、今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、世界的なウイルス災害だと思います。そのような災害に対して関中央ロータリークラブとして地域社会のために何かできることはないかとの思いの中、6

月に再開となる教育機関のために、マスクと消毒液を寄付する事業のご意見をいただきました。新型コロナウイルスの感染が一旦は落ち着いても、今後新たな感染の拡大を防ぐ為に「新しい生活様式」が取り入れられます。それには日常的なマスクの着用や、手や顔を清潔に保つように消毒の徹底などがあげられ、マスクや消毒液は生徒や教員が安心して学校生活を送るため教育現場において必要不可欠なものであると思います。理事役員の皆様には、今の休会の現状により、理事役員会が開催できず、文書での決議という形で、矢継ぎ早に話を進めてしまい、又説明不足な点もあり、誠に申し訳ございませんでしたが、事業を行うのであれば、学校が再開する前に行わなければ遅いという点と、できるだけ早く市にこの旨をお伝えしたいという思いからこのような段取りとさせていただいたことをどうかお許しいただきますようお願い申し上げます。

そこで、5月19日に市役所企画広報課に波多野篤志直前会長と幹事と私で打ち合わせに行ってまいり

ました。事業概要は、市役所を通じて教育機関にマスク 5000 枚、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液ジアマックス 20ℓ×30 本の 600ℓ、それを小分けして噴霧して使用する容器 220 個位を寄付するといったものです。小分けの容器には当クラブの名のシールを貼りつけ、それを使用する場所に手洗い消毒を推奨するクラブの名前入りの注意書きの文書を置いていただくことによって、ロータリー活動の広報にもつながればと考えております。金額といたしましては約 40 万円位の予定でおります。又、我がクラブはインターアクトクラブを通じての関商工高、ひとり親家庭の学習支援等の事業を通じて子援隊さんとの交流がございますので、そちらのほうに優先的にお使いいただくようお願いもしてまいりました。寄付の贈呈は、市長に 5 月 22 日に目録をお渡しして、後日、関商工や各教育機関に納入する予定でございます。

以上の事業計画にて進めてまいりたいと思いますので、どうか会員の皆様方におかれましてはご理解、ご協力をお願いいたします。世の中の人々が何も気にせず健康に過ごすことができる日が 1 日も早く来ることを祈念致しまして本日のご挨拶とさせていただきます。

*会長エレクト研修セミナー報告

川村 紳一会長エレクト

世界中が新型コロナウイルス感染拡大により、日本でも非常事態宣言が発出され、当初 5 月 6 日までの期限が、5 月 31 日まで再延長されました。3 密（密閉、密集、密接）を避け、外出の自粛、施設の利用制限、学校の休校、職場への出勤削減及びテレワークの推進など、経済の打撃が戦後最大の危機と言われています。

岐阜県に於いても感染者が 150 名、死者 7 名に達し、関市においては 4 名の感染者が出ている状況です。

さて、当クラブも例外なく、3 月半ばより 5 月末まで例会が休会になりました。当然「会長エレクト研修セミナー（PETS）」、「地区研修・協議会」も中止となり、代替セミナーはユーチューブ動画を用いた研修になりました。当然初めての経験となりましたが、会長の資格研修となっている重要な研修であ

るため、下記の三項目の動画を用いた研修を行いました。

- ①オープニング～辻ガバナー挨拶～剣田ガバナーエレクト挨拶
- ②会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会 研修資料
- ③基調講演（刀根荘兵衛 第 2650 地区パストガバナー）

今回の動画研修内容は、会員皆様にも事務局よりメールにて案内させていただきました。3 部からなる動画は約 3 時間 10 分位ありましたが、会員の皆さんは全部視聴されましたでしょうか。

私はこの代替セミナーが終わることにより、いよいよ会長としての職務が始まると思うと、職責の重大さに身の引き締まる思いです。微力ではありますが、理事・役員を始め会員の皆様のご協力を賜わり、精一杯務めさせていただきます。

さて、今年度国際ロータリー会長のホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げられました。

「ロータリーとは入会するだけでなく無限の機会への招待」である。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから地域社会でのささやかなプロジェクトまで奉仕の機会を開いてくれます。

- ・それは、ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在である、皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるか。
- ・私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが「四つのテスト」は誰にとっても同じです。
- ・ロータリーは、奉仕プロジェクトを実践し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見ることができます。これは、他にはない機会です。
- ・ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてき

ました。

- ・ロータリーはまたリーダーシップの機会も与えてくれます。自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。
- ・私たちは、ロータリーがもたらす機会を信じています。それは、ほかの人びとにとっての機会であり、私たち自身にとっての機会です。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると信じています。
- ・私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。
- ・私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

ホルガー・クナーク会長は、いかにしてロータリーを成長させることができるか。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。いかに組織を強くし課題に立ち向かえるか。ポリオ根絶の取り組みによって世界でロータリーへの認識が高まっているこの絶好の機会に、行動を起こしましょうと訴えています。

また、劔田ガバナーは 地区方針「伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへ」は劔田ガバナーの信条であり、前回ガバナーの時に「日本の伝統として継承するロータリー文化を堅持する」を明確化することわれています。

- ・単に昔に戻るのではなく、むしろ、イノベーションのために改革のためには本質的なものに戻る、本質を見極めること。
- ・元になる精神を根底に一体どういう方向に、何を改革するのが大切。
- ・伝統（職業奉仕・例会出席）を守りながらも伝統の中から新しいものを見つけ、時代に合った新たなものを創造していかなければならないと考えられています。

劔田ガバナーが「日本のロータリーが継承する伝統とは」何か、その中核を成すものは「職業奉仕」と「例会」であると言われています。

当クラブも3月の新委員長会議にて、職業奉仕が樹の幹であり、自らの職業を通じて社会奉仕をすること。利益を優先して事業を行うのではなく、自分の職業を通じて社会に奉仕することを第一に考え企業経営をすることにて、結果として継続的に利益につながることを意味する。

ロータリーの職業奉仕は、自らの事業や業界全体の職業倫理の向上につながり、職業奉仕実践の受益者はロータリアン本人であると、クラブ研修リーダーと一緒に勉強会を行いました。まさに、劔田ガバナーの思いと同じであり、当クラブも職業奉仕を樹の幹としてクラブ運営をして行きます。

劔田ガバナー地区目標

伝統的日本ロータリーの文化を輝かせ、真のイノベーションへの信条を鑑みて

- ・例会は週一回を推奨します。
- ・メーカーアップの期間は従来通り前後2週間を推奨します。

地区目標

1. R I 会長テーマおよび強調事項の推進
2. R I ロータリー賞への積極的なチャレンジ
3. 新しいR I 戦略計画の推進
4. 会員増強・会員維持・クラブ拡大
5. 青少年育成の推進
6. ロータリー財団補助金の積極活用と寄付への理解・推進
7. 米山奨学事業への参加と支援
8. 例会は週1回、メーカーアップは前後2週間を推奨します。

これらをすべて実践することは難しいですが、できることから実行して行きたいと思います。

そこで、今年度の関中央ロータリークラブのテーマを「一人ひとりが輝く」～会員同士の絆を大切に～とさせて頂きました。会員同士のつながりを大切に、職業奉仕を中心に、例会を充実するとともに、対外的にも奉仕活動を推し進めて、地域社会との繋がりを図っていくことで、クラブが今まで築き上げてきた、環境保全、森林整備、青少年育成事業、ひとり親家庭子ども支援事業、台北南隆ロータリークラブとの姉妹クラブ交流及び景文高校と関商工高校

との交流事業に、各委員会主導のもと、会員自ら役割分担をしてクラブの管理運営を行うことで、会員の積極的な参加、地域に貢献していることを実感でき、仲間と友情を育むことができる魅力ある活動を実施し、すべての会員が輝き、より一層会員同士の絆が強くなることを目指して頑張っていきたいと思いをします。

一年間頑張りますので、皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

***幹事報告**

・新型コロナウイルス対応事業実施について

理事・役員の皆様の過半数の賛成を得ましたので、新型コロナウイルスに対応するために物資を必要としている地元地域の団体等へマスクや消毒液などを寄付する事業を実施します。

【事業内容】

- ①寄付先 関市役所（主に関商工高校や教育関係、ひとり親家庭などに配布）
- ②寄付物品 マスク 5,000 枚と消毒液（600ml 入り）を合わせて約 40 万円相当
- ③寄付時期 学校が再開される前に、早急に実施したいと考えております

<次例会の案内>

新型コロナウイルス感染症対応原稿例会

第 2008 回 2020 年 5 月 28 日（木）

テーマ 「地区研修・協議会 研修資料を視聴して」

担 当 会長・幹事